

新潟県新発田地域振興局長賞

『税金の使いみち』

村上市立村上東中学校 3年
長谷川 千奈 さん

私の祖父は要介護認定4でした。要介護とは、1～5段階で数字が大きくなるにつれ、自分で身の周りの事ができなくなっていく状態の経緯を表します。介護にも税金が関わっているのだと知り、もしかしたら祖父にも税金が関わっていたのではないだろうかと思いました。

令和元年8月に祖父は亡くなりましたが、思い返してみると、デイサービスをよく利用していたり、祖母は車の運転が出来ないので介護タクシーを利用していました。自分なりに調べてみたところ、さまざまな所で税金が使用されていました。訪問入浴介護、訪問看護、訪問リハビリテーション、福祉用具貸与、これら全てを利用したとして全額自己負担となると高額な使用料になることを知りました。税金が関わることにより、自己負担が1割～3割ほど軽減されます。残りの9割～7割は税金でまかなわれます。

税金の種類はいろいろありますが、私が知っているものは消費税、自動車税とごくわずかしか知りませんが、税金がいろんなところに関わっていることは聞いたことがありました。まさか介護まで税金が関わっていたとは、とてもおどろきました。介護生活が長くなり税金が関わっていないと、自己負担が大きくなり、誰もが介護を受けることができなくなると思います。税金があること

によって、介護を受ける側、介護をする側にとって生活が楽になります。もちろん、ただで税金を使っている訳ではありません。若い頃に払わないといけない税金をきちんと払っていたからこそその待遇なのではないでしょうか。

無論、高齢者だけではありません。私達も医療の面では助成を受けています。高齢者だけでなく、私達子ども達も税金に関わっていると分かりました。「税金を払うのは無駄だと思う。」という人は多くいますが、こういった面に税金が使用されていると知ると、この先、私も税金を払うようになった時、いつか自分に返ってくると思い、きちんと払っていかうと考えさせられました。税金は目に見えるお金ですが、愛情、思いやり、優しさなど目に見えない税金だったらいいのにな、と思いました。

私は税金にまったく興味はありませんでしたが、税金を払う人がいることによって、税金に救われる人もいます。「税金は無駄金だ。」という人もいますが、少しでも多くの人役にたてるのなら無駄ではないと思います。

